

Emiに聞いた、10年のモノづくり。

OURHOME =
「みんなの困りごと
解決屋さん!？」

使ってくださいるその先の風景や
気持ちをつくりたい。

— OURHOMEのモノづくり、そのきっかけは？

Emi: 前職の家具ブランドから、整理収納アドバイザーとして独立した2012年。小さかった双子の育児をしながら「両手のあく、シンプルなショルダーバッグがほしい!」と、知り合いのバッグ職人さんに作ってもらったのが始まりでした。

ただ、片づけの仕事をするわたしが、モノを作り出すことに葛藤がなかったわけじゃなく…。でも、自分分は「モノ」を販売したいんじゃなく、「モノ」を使ってくださるその先のお客さまの暮らしや気持ちを作りたいんだと、スタートさせました。

今がタイミンγκかも!と、
波に乗るような感覚。

— 今では、ウェアやスキンケアまで商品の種類がたくさんになりました。

起業して数年は、家具やバッグ、メイクポーチなど、暮らしまわりのものを作ってきたけれど、2019年ウェアを作り出したのがOURHOMEにとって転機に。まさかウェアを作るなんて思っても

みながったけれど、わたし自身、30代後半になって、自分の体型や気持ちにも変化が出てきて。そんな時に、ウェアのモノづくりをしていた元後輩から声をかけてもらい、今がタイミンγκかも!と、波に乗るような気持ちではじめました。& ourhomeの

スキンケアもそうだけど、自分の心の真ん中と、人との出会いがあつて、形にしていけるんだなって、「決めつけすぎずまっすぐに、でも、しなやかに」変化し続けているのがOURHOMEだと、10年やってきて思います。

イメージは、
みんなの困りごと解決屋さん!

— OURHOMEってひとことで表すと何屋さん?

ほんと、何屋さんなんでしょ!? わたしは前職から暮らしの困りごとを、商品開発「モノ」で解決したり、考えや情報「コト」で解決することをずっと変わらずやっていて、「困りごと」をEmi工場に入れて、解決する「モノ」を生み出したたり、「コト」をお届けしたり、そんなイメージです。

だから、すでに世の中にあるアイテムで解決できる!と思ったら、わたしたちが無理に商品を作るんじゃなくて、情報として発信。お客さまにとって役立つ

方をお届けしていきたいです。結局、ひとことで表すと、「みんなの困りごと解決屋さん」なのかな!? (笑)

自分が本当に
お金を出して買いたい?

— モノづくりで大切にしていることは?

何かを買うときに「これがいいか」じゃなくて、誰かに「見てみて〜」と、自慢したくなるくらい、いいモノに出会って欲しいんです。でも、いくらいいモノでも、自分が本当にこの商品に〇〇円出せる? って、その感覚は大事にしています。

あとは企画していてキターー! っていう手応えも絶対大事。たくさんお求めいただいているロゴトートも、サンプル段階で、悪くはないけどなんか違う…という出来だった。けど、表裏を一回ひっくり返してみたら、まさにキターー! 他にはない、ひとクセと使いやすいの両立!

思いついた瞬間に、仕事中のスタッフの手を止めてまで、見てみて〜! めっちゃいいの考えた! と自慢したくなるくらいいいモノをお届けしたい気持ちはずっと変わらないです。だから、モノづくりもWEBページの制作もこだわって、この気持ち届け〜! と思いつながらつくっています!

＼まるごと見せます／
OURHOMEの

モノづくり

半年以上前から企画がスタートするモノづくりは
いつもたくさんのアイテムが同時進行。
「めっちゃ良いやん!」「なんか違う...!」「キターー!」
Emiとスタッフみんなで、頑張っています。

「困りごとを解決したい!」が OURHOMEの モノづくりのスタート

「今こんなことに困ってる〜」
「それを解決できる〇〇がほしい!」
普段の何気ない会話から
アイデアが生まれていきます。



つくってくださる 工場さん探し。

モノづくりは工場さんと二人三脚。
OURHOMEのモノづくりに対する想いに
共感していただき、ありがたいことに
「一緒に作りましょう!」とお声がけ
いただくことや、自分たちで探すことも。

4

ファーストサンプルが
上がってきた!
でもなんか違う...



細かい
サイズチェック

初めからいい感じ!
の時はあれば、
大きく修正することも。

生地が決まったら、
工場さんへ連絡。
その後も何度もやりとり。



3

たくさんの生地や
素材の中から
Emiが選ぶ!

見た目はもちろん、軽くてシワになりにくいもの、
洗濯機OKなど、お手入れの
しやすさにもこだわって。

神の手と
呼ばれてるー笑



6

今日は工場見学。
モノづくりの現場を
訪れて勉強。

OURHOMEのお客さまの
エピソードなどを工場の
スタッフさんにも
お伝えしています。



モノづくりの裏側を
インスタライブでお届け◎



7

あと5mm内側へ。
気になるところは
ミリ単位で修正〜!

完成間近!あとちょっと...という時の
キーワードは「薄目で見る!」笑。
生地を折ったり、裏返したりしていると
「キターーっ!」の瞬間が!



5

サンプルを着たり、
洗濯したり。
実際に何日か使って
過ごしてみる。

商品化する前に、
自分たちで必ず使ってみるのが
OURHOMEの鉄則!



お客さまからいただく
お手紙やメッセージが
Emiやみんなの励みに!

9

かたちが決まったら、
いよいよ本生産へGO!

決定した仕様どおりに
つくられるように
本生産に入る前後にも
しっかり確認します。

8

いよいよ最終サンプルが完成!
Emiもスタッフも
仕上がりにドキドキ。

わ、かわいいー!!!と
スタッフが自然と集まって、
「私はこっちの色を買おうかな〜」の
妄想がはじまる。笑



惜しいところまで来ていても、
コレ!というものにならなければ
1年寝かしたり、お蔵入りも...!

お客さまへ
お届けするまで、
まだまだ
長い道のり〜!

16

新商品の ページがオープン!!

担当スタッフは、
無事にこの日を迎えて「ほっ」
みんなで「おつかれ〜!!」と
乾杯したい気分。笑

15

商品名を決めよう! 大喜利みたいに たくさん案出し。

「ネーミング」もEmiが大事にしていること。
特長がわかりやすく、
OURHOMEらしい
名前が出るまで
何案も考えます!



ページ公開まで
いつもギリギリで
焦る...



10

お客さまに伝わる 商品のページをつくろう!

Emiの想いや商品の
こだわりを伝えるために、
オンラインショップの
写真も文章もデザインも、
自分たちの手で。



14

友達におすすめする ような気持ちで ページの文章を。

暮らしにどんな風に役立つ?
こだわったポイントはここ!
具体的にイメージしやすいよう
心がけてラストパート!

離れた場所で
仕事をする
スタッフにも
「見てみて」と
写真をシェア笑



11

「Life magazine」 通称「ボル」も毎月あたらしく制作◎

ボルはvol.の略。
「来月のボル2は...」と、
スタッフが話したのがきっかけで、
この呼び名に。笑
お買いものしてくださった方全員に
無料でお届けしていて、
コレクションしてくださる方も◎



13

「キター---!!」 「撮れた---!!」 いい写真が撮れたら、 Emiもスタッフも大喜び◎

「見て!みて~!!」と
他の仕事をしている
スタッフの手を止めて、
見てもらうのが
OURHOMEあるある。笑



12

撮影モデルの前日は、 スキンケアと顔ヨガを念入りに~!

モデルもEmiやスタッフが担当。
猫背を「ニャーになってるよ~!!」
と伝えたり笑いを交えて
撮影中の緊張をほぐします。



撮影に欠かせない
名脇役のグリーンたち。
上は通称「わさおちゃん」
ユーカリは代表が育てたもの

18

ご注文を確認して お届けの準備。

お届けは
「お届けチーム」が担当。
ガムテープを剥がし
やすいように、
端を折り曲げるなどの
ひと工夫も。



ご注文時のメッセージも
みんなの励みに◎



19

OURHOMEから 全国のお客さまの元へ!



オンラインショップは
こちら



Emiとスタッフで、こんな風に行っているモノ
づくり。商品のページやインスタグラムも、裏
側を想像しながら改めてゆっくり見ていただ
けるとうれしいです◎